

| 事業概要説明書 [1] | | 事業番号 | 1 - 4 | | |
|-------------------|---|--|-------|-----------------------|--------|
| 事務事業名 | 交通指導員活動事業 | 担当部名 | 地域振興部 | | |
| 事業開始年度 | 昭和 49 年度 | 担当課名 | 生活安全課 | | |
| 実施方法 | 直営 | 担当係 | 生活安全係 | | |
| 根拠法令等 | 宮崎市交通指導員設置要綱 | | | | |
| 事業の概要 | 目的 〔 何のために 〕 | 市民の交通安全を確保するため。 | | | |
| | 対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕 | <p>【委嘱人数】 52人（平成23年7月現在）</p> <p>【交通指導員の活動内容】</p> <p>① 定例の交通指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員が地域の通学路等で朝又は夕に交通指導している。 ・月6回、年72回の実施を義務付けている。 <p>② 春・夏・秋等の交通安全運動期間中の啓発イベント・キャンペーンへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車マナーアップ・飲酒運転根絶キャンペーンや市民のつどいなど | | | |
| | 事業の必要性 | 市全体の交通事故件数は依然として多い状況であるが、実際に交通指導員が街頭指導している通学路での小中学生の事故はほとんどないなど、交通指導員の活動による啓発効果が発揮され、現在以上の交通事故の増加が抑えられていると考えられる。 | | | |
| コスト | 平成23年度(予算) | | 人件費 | | |
| | 直接事業費 (A) | 5,600 千円 | 職員構成 | 概算人件費 (平均給与×従事職員数) | 従事職員数 |
| | 人件費 (B) | 1,875 千円 | 正規職員 | 1,875 千円 | 0.25 人 |
| | 総事業費 (A+B) | 7,475 千円 | 嘱託員 | 0 千円 | 0 人 |
| 平成23年度 直接事業費内訳 | <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 4,365千円 ・研修会費 661千円 ・貸与被服費 474千円 ・市交通指導員会 100千円 運営補助金 | | | | |

| 事業概要説明書 [2] | | | 事業番号 | 1 - 4 | |
|--|---|--|--------------------|--------|--------|
| 年度 | | 平成22年度(決算) | 平成23年度(予算) | | |
| 直接事業費 | | 5,574 千円 | 5,600 千円 | | |
| 財源 | 一般財源 | 5,574 千円 | 5,600 千円 | | |
| | 受益者負担金 | 0 千円 | 0 千円 | | |
| | その他 | 0 千円 | 0 千円 | | |
| 成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕 | 市民に交通安全思想が普及し、交通事故の防止が図られる。 | | | | |
| 成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕 | [状況] | 交通事故は目標を超えて依然として多く発生している。 | | | |
| | [説明] | 市全体の交通事故は目標を超えて依然として多いが、小・中学生の死亡事故の発生はなく、交通指導員による通学路等での活動効果は発揮されている。 | | | |
| 成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕 | 指標名 (下段:指標の説明) | 単位 | 数値 (上段:目標 / 下段:実績) | | |
| | | | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
| | 交通事故発生件数 | 件 | 4,000 | 4,000 | 3,900 |
| | 市全体の人身交通事故発生件数 | | 4,777 | 4,833 | |
| | 小・中学生の交通事故発生件数 | 件 | 0 | 0 | 0 |
| 上記のうち、小・中学生が関与した件数 | 199 | | 181 | | |
| 事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕 | 市では依然として多くの交通事故が発生しており、警察等と連携した交通安全対策を一層強化していくことが求められている状況である。その中で、交通指導員による街頭指導・キャンペーン活動では現に小中学生の交通事故の発生がなく啓発効果があるので、広く市民に向けた交通指導員活動を充実させ、今後とも『交通安全の広告塔』として積極的に活用していきたい。 | | | | |
| 特記事項 〔 参考情報等 〕 | <p>宮崎市交通指導員制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ●応募資格 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市に居住する年齢20歳以上の者 (2) 人格円満かつ心身とも健康であって、交通安全活動に熱意を有し、かつ、指導力のある者 ●任期 2年間 ●報酬額 年額約7万円～約9万円程度(活動状況によって加算される。) ●各種取り決め <ul style="list-style-type: none"> 市民に信頼され品位ある交通指導員活動が確保されるよう、活動要領・行事派遣等に関し取り決めを定めている。 | | | | |

交通指導員活動事業 補助資料 【生活安全課】

1. 交通指導員の活動

①定期活動

・街頭指導

毎月 5、10、15、20、25、30 日を定例指導日として、通学路の交差点等において児童、生徒等に対する街頭指導（朝または夕）を行う。

②年間活動

- ・全国交通安全運動期間中（年 4 回）における街頭指導。
- ・宮崎市等が主催する交通安全運動期間中の啓発イベント・キャンペーン等に参加する。

（平成 22 年度の活動実績）

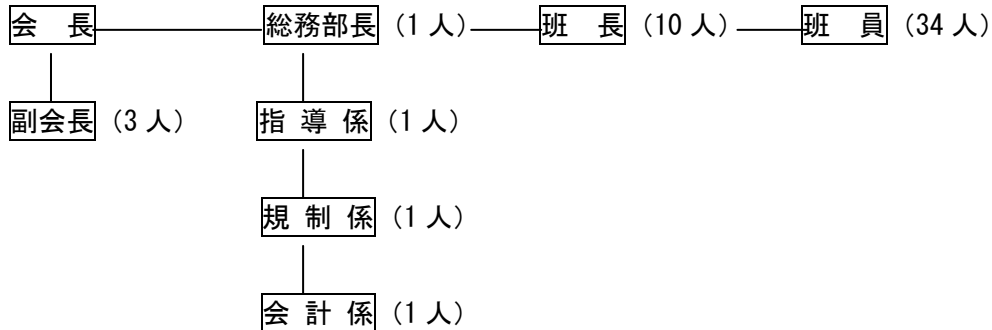
| | |
|-------------------------|--|
| 4 月 7 日 | 春の全国交通安全運動開始式 オルブライトホールにて。雨天のため例年実施している街頭キャンペーンは中止。 |
| 4 月 13・14 日 5 月 24 日 | 自転車のマナーアップキャンペーン 宮崎市役所前交差点、山形屋、ボンベルタ前等にて自転車利用者に対する指導。 |
| 9 月 24 日 | 交通安全市民のつどい オルブライトホールにて実施。イベント運営補助、啓発グッズの配布等を行う。 |
| 9 月 30 日 | 秋の全国交通安全運動（交通事故死ゼロの日） 宮崎市役所・宮交シティ・佐土原駅前交差点前にてキャンペーンを行う。 |
| 12 月 17 日 | 年末の飲酒運転根絶キャンペーン 夜間、西橋通商店街において飲酒運転撲滅運動チラシ・ミニのぼり旗等を配布。 |

【交通指導員による街頭指導の様子】



2. 宮崎市交通指導員会

交通指導員が規律を保持した交通安全活動が円滑にできるよう交通指導員会が組織されている。会では会長ほかの執行体制で年間活動計画・予算を定め、市や会員と連絡調整しながら組織運営を行っている。



3. 宮崎市における交通事故（人身）の状況（暦年）

単位：件、人

| 区 分 | | 平成 22 年 | 平成 21 年 | 平成 20 年 | 平成 19 年 | 平成 18 年 |
|-------------|------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| 全 国 | 発生件数 | 725,773 | 737,474 | 766,147 | 832,454 | 886,864 |
| | 死者数 | 4,863 | 4,914 | 5,155 | 5,744 | 6,352 |
| | 負傷者数 | 896,208 | 911,108 | 945,504 | 1,034,445 | 1,098,199 |
| 宮 崎 県 | 発生件数 | 11,000 | 11,000 | 9,384 | 9,820 | 10,090 |
| | 死者数 | 51 | 73 | 48 | 80 | 96 |
| | 負傷者数 | 13,145 | 13,171 | 11,607 | 12,167 | 12,485 |
| 宮 崎 市 | 発生件数 | 4,833 | 4,777 | 4,204 | 4,273 | 4,846 |
| | 死者数 | 16 | 22 | 20 | 18 | 23 |
| | 負傷者数 | 5,713 | 5,633 | 5,017 | 5,149 | 5,846 |

※合併 4 町域を含む。

【平成 22 年 本市における交通事故の主な特徴】

- (1) 時間帯別では、朝夕の 7:00~9:00、17:00~19:00 の発生が多く、1,602 件で全事故の約 33% を占める。
- (2) 道路形状別では、交差点及び交差点付近での発生が多く、2,400 件で全事故の約 50% を占める。
- (3) 原因別では、脇見、安全不確認等による事故が多く、3,580 件で全事故の約 74% を占める。
- (4) 年代別では、20 歳代の事故が最も多く、1,135 件で全事故の約 23% を占める。
- (5) 類型別では、追突、出会い頭事故が多く、3,086 件で全事故の約 64% を占める。
- (6) 月別では 12 月の事故が最も多く、559 件で全事故の約 12% を占める。